



SERVE TO CHANGE LIVES. 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために R.I. 会長 シェカール・メータ



第 2618 回例会 No.15

2022年(令和4年1月27日(木) 晴
「それこそロータリー」

沓名ガバナー公式訪問

名古屋丸の内・名古屋みなと合同例会
名古屋クレストンホテル

出席報告

会員 58名中 出席 16名 出席率 27.50%

○ゲスト 第2760地区ガバナー 沓名 俊裕様
 地区幹事 細井 英治様
 地区事務長 本間 育子様

会長挨拶

名古屋丸の内 RC 亀井 克典君



みなさま、
 改めましてこんにちは。
 本日は、沓名ガバナー、細井地区幹事、本間地区事務長、本当にありがとうございます。
 オミクロン株の感染拡大ということで、私は医療職で医療現場に立っておりますが、確かに感染力は全然違います。

本日も対面開催とのことで、いろいろ躊躇もありましたが、こういう形でガバナーをお迎えできるということで、スクール形式で十分なスペースを取って開催することになりました。ご協力ご理解をお願いしたいと思います。

今年度ガバナーが定められた地区方針は、「チェンジロータリー 新時代の成長に！コロナゼロ・カーボンゼロ支援」です。

今、世界はコロナで大変苦しんでいます。産業革命以降のCO2の排出増加が特にこの数十年非常に大きくなって、毎年のように山火事、洪水、暴風など色々な自然災害が起きています。これはもう看過できない状態になってきていると思います。こういう時代にこそ、私たちの行動様式を見直して、ピンチをチャンスに変えて新しい時代を構築する先駆けにロータリアンはなすべきだというメッセージではないかと私は受け止めております。

具体的にどうしたらいいのか、というのは、先程の懇談会でも名案がないところがあり、これから考えていかなければいけません。ロータリーの友1月号に掲載されたシェカール・メータRI会長のメッセージの中で、インド西部の都市プネーで、女性に低価格で再利用可能な生理用ナプキンが提供されるプロジェクトが行われているという紹介がありました。インドでは年間123億個の生理用品が使われているそうですが、それがほとんど埋立地にそのまま廃棄され、それが環境破壊の原因になっているということで、再生可能な生理用ナプキンの生産をすることで地域の雇用が創出されて、なおかつ環境破壊が防がれて結果的にCO2の排出の削減につながるという試みが行われているということでした。

このような世界各地での試みを参考にしながら、具体的に私たちに何ができるのかということ、当クラブでも考えてまいりたいと思っております。本日この後、沓名ガバナーから貴重なお話をいただきますので、その話を拝聴して今後私たちロータリアンの活動の道しるべとさせていただければ幸いです。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

二コBOX

(本日はガバナー公式訪問合同例会です。名古屋みなとロータリークラブの皆様、宜しくお願い致します) 名古屋丸の内 RC 会長 亀井 克典君 (大阪へ行けなくなったのは残念でしたが、めげずにまだ企画がありますので、コロナ後に皆様に参加できることを願っております) 栢森会長 (会長幹事懇談会、緊張しました) 岡田幹事 (沓名ガバナー、細井地区幹事、今日は宜しくお願いします) 寺本君

本日合計	13,000円
累計	812,000円

ガバナー講話

国際ロータリー第 2760 地区 査名 俊裕ガバナー



2021-22 年度ガバナー査名俊裕です。安城ロータリークラブ所属です。

今年度国際ロータリー会長はシェカール・メータ氏です。インド西ベンガル州のカルカッタ-マハナガルロータリークラブ所属です。R I テーマは「SERVE TO CHANGE

LIVES 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」まず会員増強に力を入れ、130 万人にするために一人が一人を入会させようと言っています。また女性のエンパワメントに対し、多様性・公平性・開放性に重点をおいた活動を勧めています。そして、ロータリー奉仕デーの実施です。第 2760 地区は日本でも知名度のある WFF を開催いたします。

地区の方針は「チェンジロータリー 新時代への成長に～コロナゼロ・カーボンゼロ支援～人類の危機を救うロータリーになろう」としました。コロナゼロ・カーボンゼロ支援に重点をおいた奉仕活動をお願いします。コロナの影響で個人、企業、地域が疲弊しています。カーボンゼロは CO2 排出をどのように食い止めるのか。目の前の危機の新型コロナウイルス感染、長期的な危機の環境問題。この 2 つの世界的な危機を救うロータリーになりましょう。ロータリーとして何ができるのか、一人一人が意識をもって行動することが大切だと思います。

行動方針として

- ① クラブの発展なくしてロータリーの発展なし。84 クラブが元気になるために地区は最善を尽くして応援します。
- ② チェンジロータリー。時代の変化に対応し、外向きの奉仕活動ができるロータリークラブに代わる必要があります。
- ③ 会員の基盤を広げよう。地区の目標は 5,000 名です。特に女性会員を増やしましょう。
- ④ ロータリー奉仕デーの実施。テーマはコロナゼロ・カーボンゼロ支援で統一します。テーマを統一することで地域への認知度が高くなり評価が向上します。WFF は 4 月 23 日、24 日に予定していますが、ロータリーのイメージ向上には非常に意味のあるイベントですので必ず実施いたします。
- ④ ロータリアンとしての誇りを高めよう。ロータリーの重点項目の活動を、財団の補助金を利用し、よりインパクトのある事業をし、世界に社会貢献できるロータリーになりましょう。それがロータリーブランドの向上につながります。
- ⑤ ロータリーファミリーとの連携を強化しよう。若い人たちと交流し、若い力でロータリーを活性化しましょう。

⑦ ロータリー賞・ガバナー特別賞にチャレンジしよう。

⑧ 国際大会へ参加しよう。6/4～6/8、ガバナーナイトは 6/4 です。是非登録をお願いします。

最後になりましたが、ロータリーゼロバッジを常時着用し、We are One で一丸となっていきましょう。

閉会挨拶

名古屋みなと RC 会長 栢森 雅勝君



ガバナー・会長・幹事懇談会

とき 1月27日(木) 11:30

ところ 名古屋クレストンホテル

9階「デイライト」

沓名ガバナー、細井地区幹事、本間地区事務長
2RC 会長・幹事



細井地区幹事の司会で開会

ガバナー挨拶後、式次第に沿って内容発表

1、会長方針に沿ったクラブ活動の具体的な内容について

【丸の内 RC】

- ・新入会員歓迎会や県外のクラブと交流実現させ明るく楽しく親睦を深めたい。
- ・ハイブリッド例会を実現する。
- ・SDG'sを取り入れた奉仕を実現させる。しかしながらコロナにより、実現できていない。

【みなと RC】

- ・コロナ禍により満足な活動ができない中、クラブ内の親睦と交流を活性化することに重点を置く。そのため、例会重視にてメンバーが楽しい内容にする。状況がどのように変化してもメンバー同士の心をつなぐ事を考えて行動していく。

2、奉仕活動（ロータリー奉仕デー）に於けるクラブ活動について

【丸の内 RC】 WFF に積極的参加。

【みなと RC】 今年度は状況を考慮し、他クラブとの合同事業は企画していない。

3、会員増強についてクラブとしての目標数値と具体的な進め方について

【丸の内 RC】 現在 44 名（内 4 名が女性）で今年度 3 名増強。退会防止強化を実施中。

【みなと RC】 54 期に増強 80 を立ち上げ活動継続中。2 名の純増を目指し 1 名入会、しかし 2 名の退会者があった。

4、ガバナー方針（コロナゼロ カーボンゼロ）についてクラブとしての取り組み

【丸の内 RC】 合同植樹事業に参加。

クラブ単体としては、取り組み検討中。

【みなと RC】 会員がコロナ禍でも安心して例会参加できるよう、行政の方針を考慮しながら柔軟に対応していく。

◆最後にガバナーからのコメントとして

- ・各クラブの特徴を活かしてより一層発展する様努力していただきたい。
- ・対外的な奉仕活動は難しいが、状況を踏まえて奉仕活動を再開してほしい。
- ・若い方、女性が入会しやすい環境を整えてほしい。
- ・コロナゼロ・カーボンゼロに関しては各クラブを活動に取り入れてほしい。

月	日	今後の例会予定
2	4	休会
	11	休会
	18	Web 例会（動画視聴）
	25	例会変更→【中止】 2/26~2/27 家族旅行会（大阪）
3	4	港友例会 17F「コスモス」
	11	卓話 17F「コスモス」
	18	例会変更 Partner's Night 18:00
	25	Web 例会（Zoom）
4	1	休会
	8	港友例会 17F「コスモス」
	15	例会変更 創立 56 周年記念例会 16F「アゼリア」 12:30
	22	例会変更 4/23・4/24 WFF
	29	休会